



秋晴れの下、見事なバチさばきで、元気良く富山観音太鼓を演奏する子どもたち（富沢祭り。3ページにも関連写真を掲載）

■ 今月の主な内容

- ガールズ農業体験研修 P.2
- 富沢祭りパレード P.3
- ネギの収穫、最盛期 P.4
- 東日本大震災 P.5
- 平成22年度決算 P.6
- まちの話題 P.9
- ふるさと日記 P.10
- 町民フォーラム P.15

※次回の年金相談日は11月8日(火)です。

今月の納税は、**町県民税第3期**と
国民健康保険税第4期です。

秋季全国火災予防運動

消したはず 決めつけしないで もう一度

11月9日(水)～15日(火)

期間中、朝7時と夕方6時にサイレンを鳴らします。
火災と間違わないよう注意してください。

東日本大震災

スポーツを通して交流会

少年野球交流会(大船渡市三陸町)

9月17日と18日の両日、当町のがみ少年野球クラブと大船渡市三陸町の越喜来野球スポーツ少年団、同キッピンスポーツ少年団が西公園野球場で交流会を行いました。

17日に夜間照明を点けて行われたホームラン競走では、三陸町の子どもたちの力と技術が炸裂。自分が打ったかのように嬉しがる子どもたちの笑顔がとても印象的でした。次の日は、3チームがそれぞれ交流試合を行い、熱戦を繰り広げました。



自分たちの目でみてほしい

町内4校の小学校が被災地へ



9月29日、月楯小、東法田小、満沢小、赤倉小の4校の5・6年生30人が、合同の修学旅行で被災地の東松島町を訪れました。

現地では、被災された菊池恵子さん(真室川町出身)から話を聞き、被災した場所を案内してもらいました。後日、菊池さんに送られたお礼文には、「とても大変なのに話をしてくれてありがとうございます」「私も何か役に立ちたい」「一緒にがんばりたい」などと記されていました。

祭りの花代を義援金に

新庄北高等学校最上校生徒会

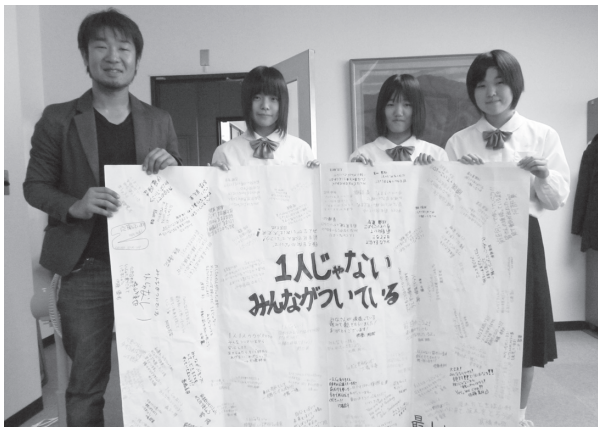
9月29日、新庄北高等学校最上校生徒会の高橋亜樹菜生徒会長と林真純議長が町役場を訪れ、義援金を五十嵐信之会計管理者に手渡しました。

この義援金は、最上校の生徒会役員が最上祭りで仮装パレードに出演した際にご祝儀として頂戴したものです。高橋さんは、「役員会でご祝儀の使い道について話し合ったとき、『このお金は、東日本大震災の支援のための義援金にしよう』と全員一致で決めました」と話してくれました。



応援メッセージを寄せ書きに

最上中学校JRC委員会



9月29日、宮城県南三陸町の歌津中学校の生徒に応援メッセージが届けられました。メッセージを届けたのは、町内の若者たちが組織する東日本大震災支援団体のおたがいさまプロジェクトの小野貴之代表。小野さんたちが積極的に支援活動に取り組んでいることを知り、最上中JRC委員会の生徒たちが、「私たちもできることを」と、大判用紙に「1人じゃない。みんながついている」と心を一つにして寄せ書きしたものです。

当町の空中放射線量は、人体に影響はありません(10月12日現在)。

計測は、旧瀬見小、大堀小、最上中、赤倉小のグラウンドの4箇所で、地上50cmと1mの地点で行なっています。計測値は、0.07~0.1 μ Sv/hの間となっています。